

## 2021年度神戸市予算案について

## 日本共産党神戸市会議員団

# コロナ禍での住民の苦難に寄り添う神戸市政へ

久元喜造神戸市長は、2021年度予算案を公表しました。2020年度補正予算と一体的に打ち出された新年度予算では、この間の市民の声と運動・議会論戦が反映し、新型コロナウイルス感染症に対する医療検査体制の維持や中小業者への独自支援が打ち出されています。また子ども医療費助成の高校生までの入院無料化や中学校給食の見直しなど、長年の運動が実り、市長選を控え久元市長のかたくなな姿勢を崩しつつあります。

しかし、予算全体では都心三宮再整備や新庁舎建設など不要不急の大型開発に何百億円もの昨年以上の予算をつぎ込んでいます。限られた財源で新型コロナに立ち向かうた

めなどとしながら、保健所衛生監視事務所の統廃合や、住民相談窓口の廃止・縮小・電子化・外注化など、住民福祉の削減をおしすすめようとしています。

菅政権による、コロナ対応の無為無策と逆行のもとで、医療検査体制も、営業も市民の暮らしも大変な苦境にたたされています。こうしたときこそ「住民の福祉の向上」という自治体本来の役割を神戸市ははたすべきです。

日本共産党神戸市会議員団は、コロナ禍の住民の苦難軽減に引き続き全力で奮闘するとともに、予算議会でも住民要求実現へ全力を挙げます。住民の願いに正面から応えない久元市政の転換に力を尽くします。

## 「困っている事業者」に必要な補償が行き渡るように

神戸市は、昨年の感染拡大「第1波」で家賃補助やチャレンジ支援以降は、長らくコロナ禍に対して「影響は業種でまちまち」「景気は上向いている」（9月副市長発言）などとし、直接支援をおこなってきませんでした。しかし、1月7日に再び緊急事態宣言が発令され、飲食店への時間短縮の要請と移動自粛によって市内の事業者の多くが苦境に立たされており、日本共産党

神戸市会議員団は各区で事業者の声を直接聞き市に要望を続けてきました。

宣言下で、飲食店には「協力金」（県市協調・1日6万円）、それ以外の売り上げが減少した事業者には「一時金」（国・法人60万円、個人30万円）が用意されていますが、「協力金」は対象が限定的で、国の一時金も金額が不十分との意見が出ています。こうした市民の声を背景に、神戸市は

「本当に困っている事業者に規模に応じた支援を行いたい」として、国県の支援に乗せず神戸市独自の家賃補助（家賃の半額・最大50万円・予算額14億円）の実施に舵を切りました。日本共産党神戸市議団は、「困っている事業者」すべてに支援の手が行き渡るよう、対象や金額の拡充をもとめていきます。

## いまこそ、医療機関への減収補填を

神戸市は、市民の要求に押される形で、PCR検査体制の拡充や、減らしてきた保健師の大幅増員によって国の基準を上回る積極的検査を実施してきました。しかし、医療機関や介護施設などで多数のクラスターが発生し、市中感染が広がるなかで、中央市民病院に開設した臨時のコロナ患者用の病棟がひっ迫。1月22日から他の病院の

コロナ患者の受け入れの拡大とともに市民病院の通常医療が制限されました。また19日には、入院調整の待機患者が562名にも達し、21日から自宅療養を容認するなど限界の状況となっています。

神戸市は、患者を受け入れた病院や、クラスターで病棟閉鎖する病院に損失補てんのための支援を行っていますが、増加する

患者に対応する病床と人員を確保するためには、いまこそ、民間及び公的医療機関の経営を支えられる規模の減収補てんをおこない、地域全体の医療体制を強化すべきです。

住民の粘りつよい運動をバックに、北区済生会病院を対象にした1.1億円の支援制度が創設され、灘区の六甲病院の民間譲渡も延期を余儀なくされています。コロナ禍での医療体制の拡充に逆行する国の医療再編計画そのものをストップさせることが必要です。

ぜひご視聴ください

## 松本のり子議員・大かわら鈴子議員が代表質疑

日時 2月26日(金)10時頃から 場所 市議会本会議場

本会議および委員会のインターネット中継をおこなっていますので、ぜひご利用ください

時間が前後する可能性がありますので、余裕をもってご覧ください  
視聴はこちらから➔



# 少人数学級をはじめ子育て世代の 願いに正面から応える市政に

国民的な世論の高まりから、国は教員定数を改善し、神戸市でも小学校全学年で35人学級の実施が決まりました。しかし、5年かけての段階的实施であり、中学・高校は対象外など本格的な前進が求められています。神戸市は「教育日本一」を掲げるなら前倒し実施に予算をつけるべきです。

また子どもの医療費の無料化の拡大を選

挙公約に掲げつつも久元市長は、「最低限度の受益者負担を求めることが必要」などとして3年間制度拡充を拒否し続けてきました。しかし市長の姿勢への批判が高まるなか、入院費にかぎり高校卒業まで無料化を拡大（21年10月～・予算額6109万円）しました。

中学校給食についても、保護者の粘りづ

よい署名活動や、子どもたちの改善を求める声の高まりのなかで、21年度から一部で食缶方式が導入されるほか、「温かい給食による全員喫食の中学校給食への移行に向け調査費」（3300万円）が計上されています。

久元市長は、今年秋に市長選挙を控える中、市民の厳しい批判と世論におされ、いくつかの前進が新年度予算案にみられますが、小手先の改善にとどめず、子育て世代の願いに正面から応える市政への転換こそ求められています。

## コロナ禍でも国追隨で大型開発を拡大、 職員と福祉施策の削減すすめる市長

コロナ禍であっても、三宮再開発は「立ち止まらない」と公言する久元市長。多くの市民や事業者が苦しみ、成人式など様々な行事やイベントが自粛で休止しているとき、市民の眼前には、三宮の再開発や市役所庁舎の建て替えだけが着々とすすめられる異様な光景がひろがっています。

新年度予算でも「都心・三宮の再整備」は151億円（前年度122億円）、「大阪湾岸道路事業」に108億円（同56億円）、国際コンテナ戦略港湾に110億円（同91億円）など大型開発推進費が軒並み増額されていま

す。菅自民公明政権が、深刻化する感染拡大への対応や、暮らしと営業を支えることには極めて不十分なまま、政府予算では「ポストコロナ」「国土強靱（きょうじん）化の推進」として不要不急の大型開発の推進に多額の予算を投じようとしています。この姿勢に率先して追隨する神戸市予算案となっています。

また2050年までに公務員半減を掲げる政府の「自治体戦略2050」にそって、神戸市「行財政改革方針2025」を策定。5年で

750人の職員削減と292億円分の住民のための施策の廃止をかけた、新年度予算でも、保健所衛生監視事務所を5か所から3か所へ削減、あんしんすこやかルームの廃止、市立幼稚園の廃園、住宅耐震改修補助の縮小、老人クラブへの助成縮小などが打ち出され、区役所の窓口業務など民間委託の拡大などで40人の職員削減をすすめています。

また特別・企業会計部門でも、市営住宅を10年で7000戸も廃止する計画がうちだされ、水道局では、5か所ある水道センターを1か所に集約するなど、数年で100名の削減。交通局でも、住民の意見を聞かず、一律の基準でバス路線をトップダウンで廃止縮小する計画をうちだしています。

## コロナに便乗した福祉切り捨てやめ、国の減収 補填で確保された予算で住民要求実現を

一般会計の予算額は8703億円で、前年度より316億円の増となっています。市税収入総額は、新型コロナウイルス感染症の影響などで149億円の減少ですが、固定資産税等の減免措置に係る減収補填の特別交付金の増（50億円）や、実質的な地方交付税の増（124億円）などで補填措置がとられています。さらに289億円の令和2年度2月補正予算が生まれ、新年度予算と「一体的に切れ目なく」施策を進めるとされており、コロナ禍において市民の切実な要求実現のための財源は、十分とは言えないもの

の確保されています。子どもの医療費拡充などいくつか実現・前進している施策もありますが、新庁舎建設はじめ不要不急の事業を休止すれば、少人数学級の前倒しや、コロナ危機で困っている住民と事業者の切実な要求を実現させることは可能です。

日本共産党神戸市会議員団は、久元市長に対してこうした予算の組み替えの提案もおこないつつ、議会内外での共同を広げ、市民の願い実現と市政転換に全力をつくします。

### コロナ禍なのに 介護も国保も値上げ

神戸市は、2021年度からの介護保険料率案を新年度予算と合わせ発表。基準月額を6260円から6400円への引き上げが提示されています。（昨年12月公表時点では6800円に引き上げる案でしたが、社会保障推進協議会などの要望が反映され一定改善されました）

また、国民健康保険料も国の進める「県内統一保険料」の押し付けのなか、神戸市の独自控除が2018年に廃止されました。市は激変緩和措置として18年度には負担増を15%の範囲に抑えていましたが、21年度は60%まで増加割合を引き上げようとしています。

コロナ禍で市民が大変な時に、支援の手を差し伸べるところか、負担増をおしつけるなど本末転倒です。

### 21年度2月議会・予算特別委員会日程と共産党議員の質問予定

	月	日	曜日	審査順位	質問予定時間	分科会	担当議員
会計室・市長室・行財政局	3	1	月	4	13:40	1	森本 真
水道局	3	1	月	5	14:05	2	味口としゆき
企画調整局	3	2	火	3	12:35	1	山本じゅんじ
こども家庭局	3	2	火	6	14:55	3	西 ただす
港湾局	3	3	水	4	14:05	2	大かわら鈴子
健康局	3	3	水	5	13:40	3	味口としゆき 朝倉 えつ子
都市局	3	4	木	2	10:50	1	山本じゅんじ
福祉局	3	4	木	3	12:35	2	味口としゆき 朝倉 えつ子

	月	日	曜日	審査順位	質問予定時間	分科会	担当議員
交通局	3	5	金	1	10:10	1	今井 まさこ
教育委員会	3	5	金	4	13:40	3	林 まさひと
建設局	3	8	月	2	10:50	2	松本 のり子
経済観光局	3	8	月	3	12:35	3	西 ただす
建築住宅局	3	9	火	6	14:55	1	今井 まさこ
危機管理室・消防局	3	9	火	1	10:10	2	松本 のり子
文化スポーツ局	3	10	水	2	10:50	3	林 まさひと
環境局	3	10	水	6	14:55	2	朝倉 えつ子
総括質疑	3	15	月	4	13:30	-	森本 真